2025年7月15日

保護者の皆様

「要望・相談・苦情等」へのご報告と園の見解について

きよた幼稚園
園長　髙村　誠

平素より、当園の教育・保育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
また、先日開催いたしました『のびのび夏祭り』に際しましては、多くの皆様にご来場いただき、お祭りを楽しんでいただけましたこと、心より感謝申し上げます。

さて、当園では『重要事項説明書』の「21 要望・相談・苦情等の解決体制について（P29)」に記載のとおり、保護者の皆様からのご意見・ご要望・ご相談・ご苦情に対して、適切に対応する体制を整えており、「第三者委員」への申し出も可能となっております。

このたび、第三者委員を通じて、当園の保護者（匿名）の方よりご意見が寄せられました。内容についてお話を伺い、園内で協議を行いましたので、その内容および園としての見解を以下のとおりご報告申し上げます。

保護者の皆様におかれましては、どうぞご一読いただきますようお願い申し上げます。

1．幼稚園部の最終お迎え時刻の繰り上げについて

【ご意見】

- 今年度より、幼稚園部の最終お迎え時刻が15時から14時30分に早まりましたが、その理由が分からず困惑しています。

【園の見解】

- 14時30分への変更は、延長保育「たんぽぽ」の利用状況や、職員の休憩・準備時間の確保、また職員が19時前に退勤できる体制を整えること、さらにバス通園児との降園時刻の調整などを踏まえ、全体として保育の質と安全を確保することを目的に実施いたしました。
- 変更にあたり、保護者の皆様へのご説明が不十分であったことにつきましては、真摯に受け止め、今後は必要な情報提供に一層努めてまいります。

2．スモック着用廃止について

【ご意見】

- スモックの着用をやめ、「汚れてもよい服装で登園してください」となった理由が分かりません。

【【園の見解】

- 当園では、子どもたちが主体的にのびのびと遊びに取り組む姿を大切にしております。その中で、スモックの着脱にかかる時間を省き、活動時間を少しでも多く確保すること、また日々の活動で衣服が汚れることを前提に、子ども自身が服装に気を配る経験も大切にしたいとの考えから、今年度よりスモックの着用を廃止いたしました。
- なお、スモックの着用につきましては、保護者のご判断によりご用意いただき、登園時に着用させていただくことは差し支えありません。
- また、こいのぼり製作など、落ちにくい塗料を使用する活動の際には、園で用意したスモックを着用させるようにしております。

趣旨をご理解のうえ、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

3．支援を要するお子様への支援体制について

【ご意見】

- 参観日の際に、支援が必要な子への教員のサポートが減っており、教室が騒がしく感じられました。

【園の見解】

- 当園では、「個に応じた教育の充実」を目指し、各クラスの状況に応じて、担任とは別に補助教諭を配置しております。また、個別の支援が必要なお子様には、可能な限りマンツーマンで対応できるよう、専任の支援教員を配置しております。
- しかしながら、支援にあたる教員数には限りがあり、すべてのお子様に常時マンツーマンでの支援を行うことは難しい状況です。そのため、支援を必要とするお子様一人ひとりの成長や現在の様子を踏まえ、必要に応じて保護者の方と相談のうえ、支援体制を見直すことがあります。その結果、昨年度は支援教員がついていたお子様であっても、支援の必要が軽減されたと判断される場合には、教員の配置を変更することもございます。
- なお、参観日当初は活動の様子が落ち着かなく見えたかもしれませんが、1学期を通して子どもたちは園生活に慣れ、現在はどのクラスも落ち着いた雰囲気の中で活動に取り組んでおります。今後も、一人ひとりの子どもたちが安心して過ごせる環境づくりに努めてまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

4．どんぐりタワーの安全性について

【ご意見】

- ボルダリング遊具にマットが敷かれておらず、教員の見守りもないため、安全性に不安があります。

【園の見解】

- 当園の「どんぐりタワー」は、スウェーデンのハグス社製の遊具であり、日本国内およびヨーロッパにおける安全基準に則って設計されたものです。国内でも多くの幼稚園・保育園・公共施設（例：大和ハウスプレミストドーム等）において使用されている信頼性の高い遊具です。

- このハグス社製の遊具は、子どもたちの身体能力やバランス感覚を育むことを目的として設計されており、「挑戦する」要素を含んでいます。そのため、十分な体力や判断力が備わっていないお子様にとっては、思わぬ危険を伴う場合もあります。そこで、設計上、ボルダリングや滑り台へと登る際のハシゴには、一定の間隔が設けられており、自然と「自力で登れる子だけが遊べる」よう工夫されています。
- とはいえ、遊具の性質上、使用中の落下によるけがのリスクはゼロではありません。そこで、登園では落下が想定される箇所には、衝撃を和らげるためのグリーンマットを設置しております。
- なお、これまでにも安全確保のために見守り体制の強化を進めてまいりましたが、本遊具の性質上、過去には年長児が雲梯を勢いよく渡る際に手を滑らせ、落下して骨折するという大きな事故も発生しております。
今回いただいたご指摘を真摯に受け止め、今後さらに安全対策の徹底と見守り体制の強化に努めてまいります。

落下に備えたグリーンマット

5．学校評価（アンケート）への対応について

【ご意見】

- 学校評価アンケートに要望を記入しても、「教職員の負担軽減」を理由に実現されないことが多く、保護者の声が反映されていないように感じます。

【園の見解】

- 保護者アンケートへのご協力をいただき、誠にありがとうございます。いただいたご意見につきましては、すべて目を通し、園内で検討を行っておりますが、人的・物的資源の状況や安全面などを総合的に勘案し、実現の可否を含めて優先順位をつけながら判断をさせていただいております。
- また、早朝から夕方遅くまでの長時間勤務が常態化する中で、「教職員の負担軽減のための働き方改革」は、教職員の健康や意欲を保ち、結果として園全体の教育・保育の質の維持・向上につながる重要な取り組みであると考えております。この点につきましても、ご理解を賜れますと幸いです。
- 今後も、保護者の皆様との対話を大切にしながら、より良い園づくりに努めてまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

ご意見をお寄せいただいた保護者の方をはじめ、日頃より当園にご理解とご協力をくださる皆様に、改めて感謝申し上げます。
当園では、保護者の皆様からのご意見やご要望を真摯に受け止め、子どもたちにとってよりよい保育・教育環境を整えていくことを大切にしております。今後とも、保護者の皆様との対話を重ねながら、園運営の改善と向上に努めてまいります。
引き続き、あたたかいご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。